

館報

庄内



庄内地区	
令和5年7月1日現在人口	
世帯数	7,266戸
男	7,343人
女	7,344人
合計	14,687人
発行 庄内地区公民館 (ゆめひろば庄内)	
電話 24-1811	
FAX 24-1812	

新型コロナウイルスも5類となり、庄内地区各町会でも様々な活動が再開してきました。

今回は、各町会で活動しているサークルやサロンを紹介していきます。

サロンおいでや

地域や年齢関係なく誰でも参加できます。コーヒーを飲み、お茶菓子を食べ、おしゃべりを楽しむ、ゆったりとした時間です。時々童謡を歌ったり、脳トレしたりしています。季節の催しを入れつつ参加者が楽しめる時間を用意しています。

この他に、「いきいき百歳体操」を開催しています。

1人 300円

毎月第1金曜日  
13:30~15:00

4月に体験会を終え、5月から始動しました。「最初大変だった運動も、だんだんと慣れてきました」「みんなで運動すると楽しくがんばれてしまふのです」「今日はサボろうと思っただけ、来て良かった」など言いながら楽しく運動しています。

会場は筑摩の【ほくほく堂】(筑摩2-27-19)です。  
☎090-7848-5034  
やくちまで

1人 200円

毎週水曜日  
13:30~15:00

みしばい会(南新)

南新町二丁目の「みしばい会」は平成27年4月15日に第1回を開催しました。発足主催者の一人である当時の民生委員さんは、趣意書に「地震や災害に

対して高齢化率の高い一丁目です。目的として助け合い・支え合い・見守りするために、お互いふれあって確認できたらと思います。そして、一緒に学び・考え・楽しく音楽や料理、演芸など好きなことが出来る楽しいお茶会にしたい！」と書かれています。親しいスタッフで案出し、町会役員も加わって、会は年10回ほど開催し続け、催し物も数多くやりました。

「コロナ猛威の時は皆でマスクを付け、「コロナ退散」と七夕に飾りました。お休みする事もありましたが、催しに工夫を施し三密防止をしながら継続し、今年また定常開催に結びつける事ができ、スタッフ・メンバー一同喜んでおります。

歳を取って脚が痛い、腰が痛いといったながらも、情熱の衰えを知らない参加者万歳!

茶の湯会(逢初町)

子どもたちに伝統文化の雰囲気を感じてもらい、そのプロセスを学び日々の稽古を行うことにより、自己の精神的、または肉体的な向上を目指し、実生活の中で活かしてもらえればと考え活動を行っています。

鍛錬を重ねつつ、結果よりもその学び過程を大切に、感性や情緒を育て、豊かな人間になってほしいと願っています。この縁に触れ、心身ともに健全で美しい心得を持つた人になること、それを日常生活に活かす事ができれば良いと思います。

茶道を学ぶメリット

- 一、礼儀作法が身につく
- 二、季節の味わいと変化を感じる
- 三、自分自身と向き合うことができる
- 四、日本という国の魅力を感じ取ることができる



地区の町会を知ろう!

神田

R5.7.1現在  
世帯数:781  
人口:1,661人  
〔男:814人 女:847人〕

皆さんこんにちは、神田町会長の入村良一です。

庄内地区福祉ひろば事業推進協議会会長、筑摩児童センター運営委員会会長を仰せつかり、皆様方よりの温かいご支援ご協力を賜り、2年目を迎えました。

まずは、5月3日に執り行われました神田千鹿頭神社御柱実行委員会主催の式年御柱大祭に際し、神田地域のみでは曳子が足りない為、町会長会議並びに各種団体の会議の場においてご協力をお願いをさせて頂いたところ、快くポスターの掲示と回覧、資料配布、当日の参加へのご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

お陰様で、当日の飛び入り参加も含め、子ども・大人総勢500名もの大勢の総力で御柱を急な参道を曳き上げ、建立祭ができ、怪我人もなく成功裏に執り行うことができました事に、

私の立場からも御礼を申し上げます。ありがとうございます。

庄内地区連合長会の横の繋がりと絆の大切さを痛感した次第です。

福祉ひろばにおきましては、毎月発行しております『福祉ひろば行事予定カレンダー』にてご案内のようになんやら催しを実施しています。どうぞご近所の皆様をお誘いの上、ご来場ください。スタッフ一同お待ちしております。

(神田町会長 入村良一)

■神田町会公民館活動の紹介

神田公民館は新しくなつて、既存の団体の会議だけではなく、団体の活動や趣味のサークル活動も盛んにおこなわれています。

夏には納涼祭、秋には文化祭など町会行事も盛んです。今年7月に一度の御柱建立祭も行われて、町民あがりの盛り上がりとなりました。

ここ数年は新型コロナウイルスの影響で、行事は行われず親睦を深めることができずでしたが、この影響もだいぶ減少してきたため、今年はお祭りやふれ

あい会食会など、子どもからお年寄りまで多くの参加ができると思っています。

神田町会も他町会同様、お年寄りが増えてきてますが、新しく越してこられた方もいらつしゃいます。神田町会公民館運営部としては、各種行事を通じて、それら町会の方々の交流を深めていきたいと思っています。

(神田町会 町内公民館長 平野亨)

三才

R5.7.1現在  
世帯数:512  
人口:1,036人  
男:517人  
女:519人



三才町名由来について、古代優れた3人の才能ある人物が諸災害を鎮めたことによるとの説、その他いくつかの説があるが、三才には天道、地道、天地間の宇宙萬物の意がある。

当町会には、昭和以前からの古い住宅と、平成以降土地区画整理事業によって、新築住宅、あるいはアパートが多く建築され、若い人達(子どもも含む)が多く住むようになり、町会人口は多くなりましたが、高齢

者世帯と若者世帯との二極化が進んでいます。

昭和28年8月29日に重要文化財指定を受けた若宮八幡社本殿があり、町会の氏神様として長く保存、崇拝し、年末年始の二年参り、1月3日には元始祭、5月には例大祭が実施され神事を執り行っています。

その他の町会行事として、6月にふれあい会食会、8月子ども会による「青山様・ぼんぼん」、夏祭り、9月に敬老会、11月に秋の感謝祭、1月は三九郎、5月と9月

にはマレットゴルフ大会と多くの皆さんに楽しんでもらっています。また、クラブ活動として、卓球、ストレッチ、健康マージャン、マレットゴルフ、ふれあいサロン等公民館活動を行っています。

一時コロナ感染拡大によ

り、3年間はいろいろな行事を縮小してきましたが、今年度はコロナも収まってきていますので、町会行事を復活し、町会員の親睦をはかっていきたいと思いま

す。町会役員、隣組長、町会皆さんの協力のもと活気があり、温かく元気で長生きができる町会を目指して行きたいと思っています。

(三才町会長 上條榮規)

■三才町会紹介と公民館活動

町名の由来は諸説ありますが、3人の才能ある人物が諸災害を鎮めたという説が有力です。我が町会には重要文化財指定の若宮八幡社があります。小さく簡素な社ですが昔から地域の氏神様として皆を見守ってくれています。

私がこの地に来た約30年

前は戸数約150戸、西側には畑、田んぼが広がっていました。今では300戸を優に越す大きな町会へと発展してきました。

町会の特徴としては高齢の方々が益々お元気で活躍されている事、新しい住宅やアパートが建ち若い家族の方々が入居され、お子さんも多い町会となっております。

公民館活動としては、コロナ禍の為伝統ある行事もやむなく中止とせざるを得ませんでした。

今年の目標は、町会あげて公民館活動をコロナ前の状態に戻す事。真夏の夜ビール片手に語り会う夏祭、趣味の作品を持ち寄り公民館に展示、餅つき、豚汁、振る舞い酒等々30年以上の歴史ある文化祭の復活等が挙げられます。

(三才町会 町内公民館長 中村守伸)

